

子どもの将来の学力を伸ばす 絵本の読み聞かせ

～ 園だより1月号 園での読み聞かせ絵本のご紹介 ～

多くの本を読んで育つと、語彙やものごとの知識が豊富になるだけでなく、読解力・思考力・判断力・集中力・表現力・共感力が培われます。毎日のクラス毎の活動では、保育士が絵本や紙芝居の読み聞かせを実践中です。また、子どもたち自身も小さいうちから絵本を眺めたり、自分で読んでいたりしています。子どもたちは目をキラキラと輝かせ、絵本に集中しています。当園での年間読書量は約1000冊です。

乳幼児期から本に触れることにより、勉強の習慣付け、基礎学力の定着に繋がります。下記の通り、今月のおすすめ絵本をご紹介します。絵本選びの参考となれば幸いです。



★ 今月の読み聞かせ絵本のご紹介 ★

<赤ちゃん組・たんぽぽ組(0・1歳児)>		<すみれ組(2歳児)>	
			
タイトル	かえるくんのおさんぽ	タイトル	てぶくろチンクタンク
作者	きもと ももこ	作者	きもと ももこ
出版社	福音館書店	出版社	福音館書店
<さくら組(3歳児)>		<もも組(4歳児)>	
			
タイトル	おもちのきもち	タイトル	ないしょでんしゃ
作者	かがくい ひろし	作者	薫 くみこ
出版社	講談社	出版社	ひさかたチャイルド
<ふじ組(5歳児)>			
			
タイトル	こじまのむりのゆきのひのおみやげ		
作者	あんびる やすこ		
出版社	チャイルド本社		